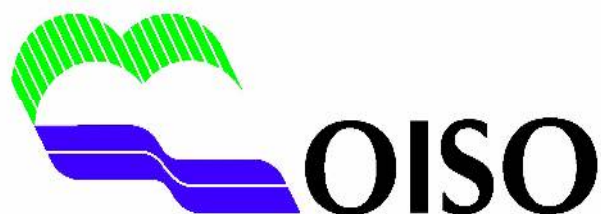


平 成 2 7 年 版

消 防 年 報



大 磯 町 消 防 本 部

ま え が き

この消防年報は、大磯町の消防現勢と平成27年中の消防業務の実態等について紹介するものです。

統計資料は主として平成28年4月1日現在で記載していますが、火災・救急・気象・その他一部の統計資料につきましては、暦年によって記載しました。

本書が、本町消防行政について、ご理解をいただくために少しでもお役にたてれば幸いです。

平成28年 9 月

大磯町消防本部

災害動向（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

●火災発生状況

火災発生件数は9件で、前年と同じ件数です。火災の種別では、「建物火災」4件、「その他の火災」5件となっており、「建物火災」は4件減少しています。建物の焼損面積は17.0㎡で、前年より43.0㎡の減少となっています。出火原因は「失火」3件、「放火」によるものが5件、「その他」1件となっています。なお、火災により亡くなられた方はおりませんでした。

●救急通報（119番着信）

119番の着信件数は3,664件（うち1,280件は「訓練及び試験」）で、前年より464件の増加となっています。通報の内訳は、「救急」1,220件、「火災」は6件でした。「問い合わせ」は212件、「間違い」や「いたずら」は98件でした。

●気象状況

年間の降雨量は1451.5mmで、前年に比べ64.0mmの増加となっています。1ヶ月の降雨量が200mmを越えた月は7月と9月で、そのうち7月の降雨量は309mmでした。

気象警報の発表状況は、「大雨警報」6件（前年より1件増加）、「洪水警報」4件（前年より1件減少）、「波浪警報」4件（前年より2件減少）、「暴風警報」1件（前年より1件減少）となっています。

●救急活動

救急活動の出場件数は1,572件で、前年に比べ27件の減少となっております。搬送人員は1,504人で34人の減少となり、事故種別では、「急病」1,019件、「一般負傷」264件、「交通事故」125件、それ以外の出動件数は164件でした。

年齢別では、65歳以上の高齢者の搬送人員が938人（62.4%）と最も多く、前年より13人の減少となっています。また、傷病の程度では、軽症者の搬送人員は690人（45.9%）で前年より30人の減少となり、中等症は683人（45.4%）で37人の増加となっており、中等症者の搬送人員が増えている状況です。

●救助活動

救助活動の出場件数は19件で、前年と比べ8件の増加となっています。事故種別では、「交通事故」6件、「建物等による事故」6件、「水難事故」3件、それ以外の事故件数は4件となっており、救助人員は17人で前年に比べ8人の増加でした。

●救急支援活動

救急支援活動の出場件数は224件で、前年と比べ15件の減少となっています。支援種別では、「救急隊の活動を円滑に行なうための出動等」が最も多く139件で、以下「交通事故」、「搬出困難」、「ヘリポート確認」の順となっています。

大磯町町民憲章

わたくしたちは、高麗、鷹取の山なみや、こゆるぎの浜に象徴される美しい自然と由緒ある歴史、文化に恵まれた大磯の地を愛し、誇りとし、さらに住みよいまちづくりを目ざして、ここに町民憲章を定めます。

- 1 恵まれた自然と伝統を守り、文化の向上に努め、豊かなまちにしましょう。
- 1 公德心と心のふれあいをたかめ、世界に誇れる美しいまちにしましょう。
- 1 心とからだをきたえ、健康で働くことを喜びあえる明るいまちにしましょう。

(昭和56年1月1日制定)

● 町の鳥

「かもめ」は、昭和59年12月に町のイメージにふさわしい鳥として制定されました。

「アオバト」は平成22年11月に町の鳥として新たに制定されました。群をなして照ヶ崎海岸の岩礁に海水を求め飛来しています。



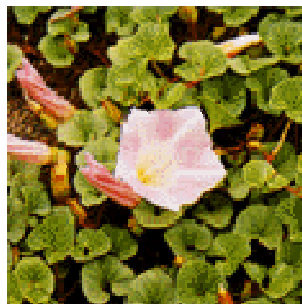
△かもめ



△アオバト

● 町の花

「はまひるがお」は、平成10年2月に大磯町のなぎさのイメージにふさわしい花として制定されました。径4～5センチの薄紅色の花は、漏斗状^{ろうとじょう}で筒が太く、海岸の砂浜に生える、つる性の多年草です。



△はまひるがお

● 町の木

豊かな自然に恵まれた大磯にもっともふさわしい町の木は、昭和50年4月に町民の公募で決定され、高い木ではまつ科の「くろまつ」、低い木ではつばき科の「さざんか」が選ばれました。



△くろまつ



△さざんか

凡 例

- 1 本書は、大磯町の消防現勢と平成27年中の消防活動のあらましを収録し
ものです。
- 2 各表の年次については、右上欄外に明記してありますが、記載のないも
のは平成27年中の数値です。
- 3 数字の単位未満は、四捨五入を原則としました。そのため、合計数と内
訳が一致しない場合があります。
- 4 統計表中の符号の用法は次のとおりです。

「0」 ……単位未満

「…」 ……不 詳

※ 欄内が空白の部分は、皆無または該当数字なしとなっています。

— 目 次 —

大磯町の地勢	1
面積・人口・世帯数	2

[消 防 の 概 要]

大磯町消防のあゆみ	3~9
歴代消防長・消防団長	10
消防庁舎の現況	11
消防機構図	12
消防本部・署事務分掌	13, 14
消防本部・署の現勢	15
常備消防力の基準と現有消防力の比較	16
消防配置図	17
消防本部・署現有車両機械状況	18
機械器具等	19
消防水利状況	20
町内消火栓管区図	21

[総 務]

主要行事	22
消防予算額	23
町総予算（一般会計）と消防予算との比較	23
消防費と世帯・人口比	23
消防職員定員・実員・年齢	24

[火 災 ・ 通 信 ・ 気 象]

月別火災発生状況	25
原因別火災状況	26
地区別出火状況	27
専用電話(119番)月別着信状況	28
現有無線局状況	29
気象状況・気温と湿度	30
気象通報受信状況	31

[救 急 ・ 救 助]

救急活動状況	32
地区別救急出場件数	33
時間別救急出場件数	34
曜日別救急出場件数	34
年齢区分別・傷病程度別搬送人員	35
収容病院別搬送人員	36

— 次 —

事故種別応急処置回数	37
月別救急支援活動件数	38
月別救助活動件数	39

[予 防]

防火対象物状況	40
防火管理者届出及び消防計画届出状況	41
火災予防関係届出状況	42
建築物消防同意状況	43
用途地域別建築物消防同意	44
中高層建築物状況	45
危険物関係届出状況	46
危険物施設状況	47
指定数量別危険物製造所等の状況	48
地区別危険物施設及び貯蔵・取扱数量	49

[消 防 団]

消防団の現勢	50
消防団の現況	50
消防団分団別受持区域図	51
消防団分団別受持区域表	52
各分団所在地	53
消防団員階級別年齢	54
職業別消防団員数	55
消防団員在職年数	55
消防団員報酬額	55
消防団員費用弁償額	55
消防団現有車両機械状況	56

[その他 統計]

防災訓練実施状況	57
各講習会実施状況	57
普通救命講習会実施状況	58
参考資料	59

大磯町の地勢

大磯町は、神奈川県中央南部（東経 139° 18'，北緯 35° 18'）に位置しています。南は相模湾、北は高麗山や鷹取山をはじめとした大磯地塊の丘陵地帯で、北と東は平塚市、西は二宮町と境を接しています。東西約 7.6 km、南北約 4.1km のやや東西に長い形をしており、面積は 17.23 k m²で、市街地は国道 1 号沿いの平坦部に形成されています。まちの 65%を丘陵部が占め、気候は海岸沿いに流れる暖流の影響で温暖です。

※ 緯度、経度は大磯町役場の位置



人口・世帯数

(平成28年4月1日現在)

自治会名	世帯数	人口		
		総数	男	女
高麗	地区別人口と世帯数については、平成27年国勢調査集計中のため未掲載。			
東町				
長者町				
山王町				
神明町				
北本町				
北下町				
南本町				
南下町				
茶屋町				
裡道				
台町				
西小磯東				
西小磯西				
国府新宿				
中丸				
馬場				
月京				
生沢				
寺坂				
虫窪				
黒岩				
西久保				
石神台				
町内全地区合計	12,274	31,497	15,377	16,120
参考	大磯町総面積 17.232km ²	1km ² あたりの		
		世帯数	人口(人)	
		712	1,828	

※ 出典：平成27年国勢調査速報値を基準人口とした推計人口